

## 令和3年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新・見てわかる社会と情報（日本文教出版）						
副教材等	Windows7 対応 30 時間でマスター Office2013（実教出版）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
- ・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、グループワークや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

## 2 学習の到達目標

- ・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して生徒が主体的に情報の収集や整理を行うことができる。
- ・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
- ・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	・情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて思考を深め、適切に判断し表現している。	・情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	・情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

期 学	名 単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	情報 社会と わたしたち	○情報社会 ○情報社会の個人 ○情報とメディア	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	a:授業に興味を持って参加しようとしているか。情報や知識についての意味を理解しようとしているか。 b:情報をデジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:メディアリテラシーを身につけて情報を取り扱う技能があるか。 d:データ・情報・知識の違い、情報化の光と影、メディアリテラシーについて理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
1 学期	情報 機器と デジタル表現	○デジタルと情報機器 ○デジタル表現	○ ○	○ ◎	○ ○	◎ ○	a:情報のデジタル化に関心があるか。情報量について興味を持っているか。 b:2進数、10進数、16進数を用いて情報量を適切に表現できるか。 c:2進数、10進数、16進数の相互変換ができるか。情報のデータ量の基本的な計算ができるか。 d:アナログとデジタルについて理解しているか。2進数と情報量について理解しているか。情報のデジタル化の原理について理解しているか。	ワークシート 授業観察 定期考査
2 学期	表現 と伝達	○表現の工夫 ○表計算ソフトの利用	○ ○	○ ○	○ ◎	◎ ○	a:表計算ソフトのデータ入力・グラフ作成・データの抽出や関数の利用に意欲的に取り組んでいるか。 b:企画書のレイアウトやグラフなど表現を工夫しているか。 c:表計算ソフトへのデータ入力と抽出ができ、関数を利用できるか。条件にあうデータ検索ができるか。 d:グラフの種類や機能についての知識を持ち、適切に利用できるか。目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現する知識があるか。	実習作品 授業観察 定期考査 ワークシート

2 学期	コミュニケーションとネットワーク	○コミュニケーション ○ネットワーク	◎ ○	○ ○	○ ○	○ ◎	a: ネットワークやデータベースについて、身の回りにある情報システムや提供されるサービス、プレゼンやWEB ページについて関心を持とうとしている。 b: 情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるかを考えることができる。問題解決においての情報の有用性について考えることができる。 c: 必要な情報を素早く検索できる。プレゼンやWEB ページ作成ができる。 d: データベース、プレゼン、WEB ページの役割と概念を理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品
3 学期	法とセキュリティ	○情報の管理・保護に関する法律 ○情報セキュリティ	○ ○	○ ○	○ ○	◎ ◎	a: 知的財産権について積極的に調べようとしているか。著作権侵害しないように著作物を利用する態度を身につけているか。 b: 知的財産権の権利の相違を判断できるか。著作権の例外規定を正確に判断できるか。 c: WEB ページを利用して、特許や実用新案や商標を検索できるか。 d: 知的財産権の内容を理解しているか。情報セキュリティ技術の知識があるか。	授業観察 ワークシート 定期考査
3 学期	情報社会と問題解決	○情報システムと人間 ○問題解決	○ ○	○ ◎	○ ○	◎ ○	a: 情報社会において、情報システムに興味・関心を持っているか。 b: 情報の受けてのことを考えた情報の表現ができるか。 c: 問題解決のための手段を選択できるか。 d: 問題解決の手順と解決するための工夫を理解しているか。	授業観察 ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能      d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。